

講義シラバス

科目名	キャリア開発	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生	1組	
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大平化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで専ら。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーのITインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを営むと共に、専門学校、企業研修や高校での模範面接などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定等の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
社会人に求められるコミュニケーションマナーと社会人としての自覚を身につける					社会人に必要な「社会人基礎力」を身につける				
【学習内容】									
仕事に必要な意識を理解し、ソーシャルマナーを身につける 理解し、社会人基礎力を高める									
今までの学習をベースに、キャリアプランニングの重要性と社会人として求められることを理解し、自身の目指す業種に求められていることは何か。そのためには何が必要かを考え、社会人となる準備に繋げる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ノート・筆記用具・新会人の基礎力109									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】2 社会人基礎力とは何か・学ぶ意義を理解する どのように自身の役に立てるか目標を立てる	この授業を		⑨ (11/29)	【到達目標】3 社会人に必要な「社会人基礎力」 について学び、自分の能力を伸ばすための実践方法を 考えるようになる	社会人に必要な能力 考えることができる			
② (10/4)	【到達目標】2 社会人基礎力 職場で必要な報連相① の仕方について実践できるようになる	箇条書き		⑩ (12/6)	【到達目標】3 社会人に必要な企業人として遵守すべき規範について理解できるようになる				
③ (10/18)	【到達目標】3 社会人基礎力 職場で必要な報連相② 割と質問の仕方についてできるようになる	報連相の役		⑪ (12/13)	【到達目標】3 社会人としての自分を守り高めるが理解できるようになる				
④ (10/25)	【到達目標】3 社会人に必要な「社会人基礎力」 解できるようになる・気づき(ポイント)をまとめる	「会社に入るといこと」について理		⑫ (12/20)	【到達目標】3 レジリエンスを高め、ポジティブシンキングでの対応を身につける				
⑤ (11/1)	【到達目標】3 社会人に必要な「社会人基礎力」 「組織の中で働くということ」について理解できる ようになる	「組織の中で働		⑬ (1/10)	【到達目標】3 自身の意見をしっかりと伝える方法を実践できるようになる				
⑥ (11/8)	【到達目標】3 社会人に必要な「社会人基礎力」 くということについて気づき(ポイント)まとめ	「組織の中で働		⑭ (1/17)	【到達目標】3 アクティブリスニングを理解し、コミュニケーションを高めることを理解する				
⑦ (11/15)	【到達目標】3 自分を成長させるキャリアパス キャリアビジョンを理解し、 実践できるようになる	キャリアプラン 自身のキャリアデザインについ		⑮ (1/24)	【定期試験】6D 社会人基礎力、自己アピール、コミュニケーション力 授業で身につけた知識をペーパーテストで確認	これまでの			
⑧ (11/22)	【到達目標】3 社会人に必要な「社会人基礎力」 力を高める」について理解できるようになる (自己分析)	「社会人基礎		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業要請姿勢についての指導 必須項目は、メモを取る									

講義シラバス

科目名	ビューティマナーⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生	1組	
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大学化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで専与。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーのITインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、百貨、企業研修や高校での授業面後などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定等の授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】

社会人に必要なコミュニケーションマナーについて理解し、セルフプロデュース力を身につける

【学習内容】

円滑な人間関係を構築するのに役立つスキルの人と働きたい・お客様に選ばれる自分になる(内面からの自分磨き) 周りの人に、感じが良い、こ
 プロとしてのマナーを身につけ、広い角度からの対応を学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ノート 筆記用具		
日時	授業計画	授業計画
① (9/27)	【到達目標】2 「ビューティマナーへの目標共有」ビューティマナーを学ぶ意義を理解する 生に3Sからの自身を振り返る	【到達目標】3 ⑨ (11/29) プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける の最終目的について考える
② (10/4)	【到達目標】2 より良いコミュニケーションが信頼関係を築くについて理解できるようになる うな会話・対応が必要かを考える	【到達目標】3 ⑩ (12/8) プロとしてのマナー・クレーム対応を身につける レーム対応を考える
③ (10/18)	【到達目標】3 より良いコミュニケーションが信頼関係を築くについて理解できるようになる 表れないメッセージを読み取る	【到達目標】3 ⑪ (12/13) プロとしてのマナー・クレーム対応を身につける 初期対応～お客様の話を傾聴する
④ (10/25)	【到達目標】3 プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける 目標で対応を仕方を考える	【到達目標】3 ⑫ (12/20) プロとしてのマナー・クレーム対応を身につける 対応②お客様の気持ちを理解する～お客様をファンにつける
⑤ (11/1)	【到達目標】3 プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける 間の情報共有で「いつも良いサービス」につなげる	【到達目標】3 ⑬ (1/10) プロとしてのマナー・クレーム対応を身につける メール対応～お客様をファンにするポイントについて考える
⑥ (11/8)	【到達目標】3 プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける を働かせるについて理解できるようになる	【到達目標】3 ⑭ (1/17) プロとしてのマナー・名刺交換 名刺交換を身につける
⑦ (11/15)	【到達目標】3 プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける い時間と空間をつくるについて理解できるようになる	【定期試験】60 ⑮ (1/24) 4Sで身につけた知識をペーパーテストで確認 リ通り自身の成長についてまとめる
⑧ (11/22)	【到達目標】3 プロとしてのマナー・感動を与える接客マインドを身につける 目的について考える	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る

講義シラバス

科目名	ラッピングPOP	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	越野 友貴子	講師 プロフィール	ラッピングコーディネーター、フードコーディネーター。 専門学校や自治体、企業研修などでラッピング技術の指導、広告撮影などに携わる						

【授業を通じての到達目標】

ラッピングの基本となる包み方とリボンの結び方を習得し、作品作りやディスプレイなどでセンスを磨く。

【学習内容】

包装、カード作成、ディスプレイなど、色の組み合わせやデザインなどを考えながら作成する

【使用教科書・教材・参考図書】

箱、包装紙、不織布、リボン、カッター、はさみ、セロハンテープ、両面テープ

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ショップのラッピングやディスプレイを考察する

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/30)	【到達目標】授業の内容や目的を確認し、カッターの扱い方を学ぶ オリエンテーション 授業の進め方、贈答のマナー、道具の使い方	⑨ (11/25)	【到達目標】不定形な商品をキレイにラッピングする ギフトの包装② 不織布を使ったアレンジ (小テスト3点)
② (10/7)	【到達目標】合わせ包みと蝶結びをマスターする 基本の包装① 合わせ包み、蝶結び (小テスト3点)	⑩ (12/2)	【到達目標】様々なラッピングアレンジ方法を学ぶ ギフトの包装③ 箱のラッピングアレンジ(小テスト3点)
③ (10/14)	【到達目標】うす箱の合わせ包みと裏表のある蝶結びをマスターする 基本の包装② 合わせ包み(うす箱)、裏表のある蝶結び (小テスト3点)	⑪ (12/9)	【到達目標】リボンでヘアアクセサリを作成する ヘアアクセサリの作成
④ (10/21)	【到達目標】ふろしき包みと十字がけをマスターする 基本の包装③ ふろしき包み、十字がけリボン(小テスト3点)	⑫ (12/16)	【到達目標】クリスマスディスプレイにも使えるラッピングアレンジを学ぶ クリスマスのラッピング(小テスト3点)
⑤ (10/28)	【到達目標】ハロウィンをイメージしたカードを作成する ハロウィンのラッピング、カード作成(小テスト3点)	⑬ (1/13)	【到達目標】オリジナル性のあるデザインを考える バレンタインのラッピング(小テスト3点)
⑥ (11/4)	【到達目標】締め包みと斜めがけをマスターする 基本の包装④ 締め包み、斜めがけリボン(小テスト3点) 祝儀、不祝儀の包み方	⑭ (1/20)	【到達目標】模擬試験を行い、試験内容を確認する まとめ 模擬試験(小テスト10点)
⑦ (11/11)	【到達目標】販売に必要なラッピング知識を学ぶ 課題対応 ラッピングの目的、販売員の心得 他	⑮ (1/27)	【定期試験】 定期試験 筆記+実技試験 (合計60点)
⑧ (11/18)	【到達目標】販売に必要な贈答のマナーを学ぶ 授業記述 ギフトの包装⑤ 斜め包み (小テスト3点) のし紙について(内のし、外のし)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

基本の技術の習得が重要になるため欠席がないようにお願いします。

講義シラバス

科目名	ダイエットビューティⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	石綿 仁美	講師 プロフィール	柔道整復師・調理師の国家資格を持ち、加圧スペシャルインストラクターとして身体についての正しい知識をもってインナービューティ(食事)とアウタービューティ(運動)を軸に自身のダイエット経験を活かした健康美をお伝えしています。エステティシャンとしてスタートした美容歴は20年以上となり、現在は自宅・出張サロンと整骨院勤務もしています。						

【授業を通じての到達目標】

自分史上最高の身体づくりの実践をもとに、自分の言葉で理論説明ができ自分の考えた方法で効果を出せるようになる。

【学習内容】

身体の構造や機能を理解した上でのエクササイズやボディケアを中心に、美しいボディラインを手に入れるために必要な技術・理論を実践する。

【使用教科書・教材・参考図書】

ipad・タオル・ストレッチポール など
参考図書:解剖学アトラス 他

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

学んだことを実践できるとなおいでしょう

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/27)	【しなやかなで美しいBODY セルフメンテナンス①】 太ももの張りを改善しほっそりとした脚を手に入れる方法を実践できるようになる。	⑨ (11/29)	【お悩み別BODYメイク②】 女性特有のお悩みについて理解し、改善エクササイズを実践できるようになる。
② (10/4)	【しなやかなで美しいBODYメイク セルフメンテナンス②】 お尻、太もも裏と内もものほっそりとした脚を手に入れる方法を実践できるようになる。	⑩ (12/6)	【お悩み別BODYメイク③】 肩こりなど痛みのお悩みについて理解し、改善エクササイズを実践できるようになる。
③ (10/12)	【しなやかなで美しいBODYメイク セルフメンテナンス③】 ウェストと背中をスッキリさせる方法を実践できるようになる。	⑪ (12/13)	【今日食べたものが未来の自分をつくる①】 現在の食生活と、目指す食生活を比較する。 消化吸収について学び、理想的な食生活は何か理解できるようになる。
④ (10/18)	【しなやかなで美しいBODYメイク セルフメンテナンス④】 肩と腕をスッキリさせ姿勢見えてくる方法を実践できるようになる。	⑫ (12/20)	【今日食べたものが未来の自分をつくる②】 より美しくなるために食べるべきものを知り、日常に取り入れられるようになる。
⑤ (10/25)	【部位別BODYメイク①】 肩甲骨と体幹の動きを理解し、全身のバランスを取れるようになる。	⑬ (1/10)	【今日食べたものが未来の自分をつくる③】 より美しくなるために口に入れるものを見極めることができるようになる。
⑥ (11/1)	【部位別BODYメイク②】 美しい顔とデコルテ、バストアップに効果的なエクササイズを実践できるようになる。	⑭ (1/17)	定期試験用レポート、発表内容作成・確認
⑦ (11/8)	【部位別BODYメイク③】 フェイスラインを美しく、小顔になるエクササイズを実践できるようになる。	⑮ (1/24)	発表、レポート提出
⑧ (11/15)	【到達目標】 【お悩み別BODYメイク①】 むくみのメカニズムについて理解し、改善エクササイズを実践できるようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

実技が多いのでジャージやレギンス等動きやすい服装で参加してください。

講義シラバス

科目名	ビューティボディ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティエステ専攻			学年	2年生		
講師名	川口奈美	講師 プロフィール	スリムビューティハウスにて東北北海道地区の社員教育を統括。後にエステティックサロンを個人開業。同時に札幌ベルエポックで講師を務める。C I D E S C O インターナショナルエステティシャン、日本エステティック協会認定講師、認定衛生管理者、協会認定試験官、A E A インターナショナルエステティシャン、A E A 認定講師、A E A 登録試験官、日本エステティック試験センター登録試験官、A E A 認定試験アンバサダー。						

【授業を通じての到達目標】

- ・プロとして必要なボディ実技理論、ボディ機器技術を習得する。
- ・ボディコンサルテーションに必要な知識と身体理論、ボディ分析技術を習得する。
- ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験におけるワックス脱毛試験に合格する
- ・サロン現場で人気メニューである「脱毛」の基礎知識を習得し、現場力を高める

【学習内容】

- ・Ajesthe認定上級試験に合格できるボディ実技理論とコンサルテーション技術を習得する
- ・電気機器の技術と理論を習得する
- ・美容脱毛実技理論を学び、脱毛の基礎知識を修得する。
- ・基本的なワックス脱毛技術を習得する。

【使用教科書・教材・参考図書】

- ①「ペーパーワックス、ワキ脱毛、アソファクター」②「電撃、メソサー、パペル」その他美容道具
③ 新エステティック学—技術編 I、AEA④美容脱毛学、AEA⑤美容脱毛実技理論

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/29)	ボディ機器「低周波」の技術と実技理論を習得する 目的効果、禁忌、留意点を習得する 機器の取り扱いを覚える	⑨ (12/1)	Ajesthe認定上級試験対策 ボディ実技試験の全工程の施術が規定時間内に出来るようになる
② (10/6)	【到達目標】 ・脱毛法の中でのワックス脱毛の位置付けとその特徴を理解する ・ワックス脱毛の禁忌事項を覚える ・脱毛に必要な衛生管理、施術上・施術前の注意事項を覚え、準備が出来る	⑩ (12/8)	【到達目標】 ・Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術でワックス脱毛下腿部前面、下腿部後面を仕上げる ・口頭試験に対応できる
③ (10/13)	【到達目標】 ボディ機器「低周波」の技術と実技理論を習得する 前面の施術が出来るようになる	⑪ (12/15)	【到達目標】 Ajesthe認定上級試験対策 ボディ実技試験の全工程の施術が規定時間内に出来、口頭試験に対応出来るようになる
④ (10/20)	【到達目標】 ・ワックス脱毛の基本的技術手順(消毒～ペーパーを剥がす)を習得する ・ワックス剤の基本的な取り扱いを習得する ・アフターケアの必要性と重要性を理解し、説明できるようにする。 ・脱毛用化粧品の名アイテムの目的効果、成分を覚え、効果的に使用出来るようになる	⑫ (12/22)	【到達目標】 Ajesthe認定上級試験 ボディ実技試験に合格する
⑤ (10/27)	【到達目標】 ボディ機器「低周波」の技術と実技理論を習得する 背面の施術が出来るようになる	⑬ (1/12)	【到達目標】 ・発毛のしくみ、毛周期について修得し口頭試験に対応できる ・Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術でワックス脱毛、下腿部を規定時間内に仕上げる ・口頭試験に対応できる
⑥ (11/10)	【到達目標】 ・脱毛技術に必須である毛流の見極めが出来るようになる ・効率的なワックス脱毛の手順を習得する ・下腿部・前面の効率良い施術を行うためのワックス塗布の順序を覚える	⑭ (1/19)	【到達目標】 ・Ajesthe上級認定試験対策として、手際良い施術でワックス脱毛、下腿部を規定時間内に仕上げる ・口頭試験に対応できる
⑦ (11/17)	【到達目標】 Ajesthe認定上級試験対策 ボディ実技試験の全工程の施術が出来るようになる	⑮ (1/26)	【定期試験】50 Ajesthe上級認定試験 ワックス脱毛実技試験(下腿部)に合格する
⑧ (11/24)	【到達目標】 ・膝頭、足指の施術手順、スパチュラの使い方、ペーパーの使い方を習得する ・下腿部・後面の効率良い施術を行うためのワックス塗布の順序を習得する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	ジェルネイルⅢ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティネイル専攻			学年	2年生		
講師名	加藤梨愛	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会認定講師。Nailsalon & school Luxfaオーナー。 国内外のコンテストにて入賞経験有り						
【授業を通じての到達目標】									
ジェルネイル検定上級合格レベルになる ジェルネイルの応用技術を身に付ける									
【学習内容】									
ジェルネイル検定上級合格レベルになる ジェルネイルの応用技術を身に付ける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ジェルネイル教材一式、筆記用具、ビニール袋、 キッチンペーパー、コットン、アルミホイル					ジェルネイル検定前の自主練習、筆記演習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/29)	【到達目標】 上級試験の内容の説明、ジェルクリアスカルプ・ジェルチップオーバーレイの練習 小テスト5点(試験事項の内容について)				⑨ (12/1)	【到達目標】 合格レベルを意識しながらタイムトライアル 実技最終チェック 小テスト10点(実技)			
② (10/6)	【到達目標】 フラワーアートの練習 チップオーバーレイの上にフラワーアート、フレンチ				⑩ (12/8)	【到達目標】 検定試験当日			
③ (10/13)	【到達目標】 自分の片手にジェルクリアスカルプ・ジェルチップオーバーレイの練習 ハンドだけでなく人の手にも施術ができるようになる				⑪ (12/15)	【到達目標】 スノードームネイルの練習 小テスト5点			
④ (10/20)	【到達目標】 中級試験の手順・時間配分を理解し、技術を向上させる				⑫ (12/22)	【到達目標】 ジェルイクステンションの応用 興行きを活かしたフラワーアートの練習 小テスト5点			
⑤ (10/27)	【到達目標】 時間配分を考え、タイム内に収めることを意識しながら練習する フォルムを意識したイクステンションができるようになる 小テスト5点(チップの提出)				⑬ (1/12)	【到達目標】 定期試験で施術するデザインを考え、試作する			
⑥ (11/10)	【到達目標】 タイムを意識しながら綺麗なフォルムのイクステンションができるようになる				⑭ (1/19)	【到達目標】 考えたデザインをタイム内に収められるよう練習			
⑦ (11/17)	【到達目標】 苦手部分を把握し、克服する 小テスト10点(チップの提出)				⑮ (1/26)	【定期試験】50 ジェルイクステンション5本と組み合わせたアートを時間内に仕上げ、チップ提出			
⑧ (11/24)	【到達目標】 合格レベルを意識しながらタイムトライアル				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、遅刻、欠席をしない 授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく									

講義シラバス

科目名	ビューティカウンセリングⅢ	必修選択の別	必修	開講区分	4S	授業形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	大槻亜由美	講師プロフィール	短大卒業後、国産化粧品メーカーに入社。ビューティコンサルタントとして市内百貨店にて勤務。退職後、市内専門学校にてスキンケア講師として勤務。現在は国産スキンケアメーカーのコールセンターにてトレーナーとして勤務。コミュニケーターの研修、指導、育成を行っている						
【授業を通じての到達目標】									
BAの現場で求められるスキンケアカウンセリングスキルを習得する。的確なヒアリング、商品提案、タッチアップ、ホームケアアドバイスを行える。またオンラインカウンセリングなど今の時代に合わせたスキルも身につけ、現場で求められるBAを目指す									
【学習内容】									
3Sに引き続き、スキンケアカウンセリング全般を学ぶ。スキンケア実習、相モデルでのタッチアップ実習なども交え、より現場を意識した学びを行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・ノート・スマホもしくはタブレット・コットンティッシュ・スキンケア教材一式・ビューティプラン									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 9/27	【到達目標】 定期試験を振り返り、4Sでの自身の目標設定を行う				⑨ 11/29	【到達目標】 アイテムカウンセリングクリーム 的確なカウンセリングを行い、お肌悩みに合わせて相応しいクリームをご紹介できる。			
② 10/4	【到達目標】 アイテムカウンセリングークレンジング クレンジングをお探しのお客様にカウンセリングを通して相応しいクレンジングをご紹介できる				⑩ 12/6	【到達目標】 校外実習 市内百貨店でカウンセリングを受け、自身のカウンセリングレベル向上に 役立つ			
③ 10/18	【到達目標】 アイテムカウンセリングー化粧水・乳液 化粧水・乳液をお探しのお客様にカウンセリングを通して相応しいアイテムをご紹介できる				⑪ 12/13	【到達目標】 オンラインカウンセリング法の習得 オンラインカウンセリングの基本を理解する。 対面との違いやオンラインのメリット・デメリットを理解する			
④ 10/25	【到達目標】 アイテムカウンセリングー化粧水・乳液 化粧水・乳液をお探しのお客様にカウンセリングを通して相応しいアイテムをご紹介できる				⑫ 12/20	【到達目標】 オンラインカウンセリング 実際にオンラインカウンセリングを行い各自課題を認識する			
⑤ 11/1	【到達目標】 アイテムカウンセリングー美容液 的確なカウンセリングを行い、お肌悩みに合わせて相応しい美容液をご紹介できる				⑬ 1/10	【到達目標】 オンラインカウンセリング 実際にオンラインカウンセリングを行い各自課題を認識する			
⑥ 11/8	【到達目標】 (課題)スキンケア市場リサーチ。				⑭ 1/17	【到達目標】 定期試験対策 各自、自身の強み弱みを把握し、定期試験への準備を行う			
⑦ 11/15	【到達目標】 アイテムカウンセリングー美容液 的確なカウンセリングを行い、お肌悩みに合わせて相応しい美容液をご紹介できる				⑮ 1/24	【定期試験】60 定期試験 3S、4Sで学んできたことを活かし、ホスピタリティを意識しながら スキンケアカウンセリングを行う。ヒアリング力、提案力、タッチアップの 楽しさ、立ち姿を評価ポイントとする			
⑧ 11/22	【到達目標】 アイテムカウンセリングークリーム 的確なカウンセリングを行い、お肌悩みに合わせて相応しいクリームをご紹介できる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に授業に参加する									

講義シラバス

科目名	オーガニックフレグランス	必修選択の別	必修	開講区分	4S	授業形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師プロフィール	短大卒業後国産化粧品ブランドに入社。ビューティコンサルタントとして市内百貨店にて勤務。退職後はスキンケア講師として市内専門学校で勤務。現在は国産スキンケアブランドコールセンターでトレーナーとして勤務。コミュニケーターに美容指導を行っている						

【授業を通じての到達目標】

- ①オーガニックコスメを理解する。スキンケア・メイク・ヘアケア各々の正しい知識を身に付け、実習を通してオーガニックコスメを理解する
 ②フレグランスの基礎知識、歴史、業界動向を理解し、フレグランスを楽しめるようになる

【学習内容】

- ①オーガニックコスメを学びオーガニックコスメを使用し、一般化粧品との違いを確かめ、プレゼンを行う
 ②フレグランスの基本を学び、各ブランドのフレグランスを試し、プレゼンを行う。また購買実習を通してフレグランスのご紹介方法も学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具・ノート・スマホもしくはタブレット

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① 9/28	【到達目標】 オーガニックコスメを理解する。オーガニックコスメの定義を理解する。 オーガニックコスメへのお客様ニーズや業界動向を知る	⑨ 11/30	【到達目標】 国産フレグランスを知る。国産フレグランスの歴史、そして現在の国産フレグランスの動向を理解した上で国産フレグランスを試す。
② 10/5	【到達目標】 オーガニックスキンケアリサーチを行いオーガニックスキンケア市場を理解する	⑩ 12/7	【到達目標】 外資ブランドのフレグランスを知る。外資ブランドのフレグランスの歴史、そして現在の外資フレグランスの動向を理解した上で外資ブランドのフレグランスを試す。
③ 10/12	【到達目標】 オーガニックスキンケアリサーチを行いオーガニックスキンケア市場を理解する	⑪ 12/14	【到達目標】 メンズフレグランスを理解する。国産、外資のメンズフレグランスの歴史、現在の動向、市場を理解する。
④ 10/19	【到達目標】 オーガニックブランドのメイクアイテムを知り、業界動向やお客様ニーズを理解する	⑫ 12/21	【到達目標】 購買実習ディスカッション。グループに別れ、次週の購買実習で購入するフレグランスを決定する。
⑤ 10/26	【到達目標】 オーガニックブランドのボディー、ヘアケアアイテムを知り、業界動向やお客様ニーズを理解する	⑬ 1/11	【到達目標】 購買実習。各グループでフレグランスの接客を受けレポートを提出する
⑥ 11/2	【到達目標】 購買実習。お店作りやBAさんの接客対応内容、アイテムご紹介方法などを意識しながら接客	⑭ 1/18	【到達目標】 フレグランスを楽しむ。購入したフレグランスを楽しみながら使用する。
⑦ 11/9	【到達目標】 【課題】購買実習レポート	⑮ 1/25	【定期試験】60 オーガニックコスメ・フレグランスプレゼンテーション。 商品の魅力を自身の言葉でしっかりお客様にお伝えすることができる
⑧ 11/16	【到達目標】 フレグランスの基礎知識を理解する。トップ・ミドル・ラストや正しい使用方法を理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】 積極的にディスカッションに参加する			

講義シラバス

科目名	就職講座Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	大谷 奈津美	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校第10期生。卒業後、(株)札幌丸井三越のクリスチャンディオールにて化粧品の販売経験を積む。退職後、講師として母校に戻り現在に至る。						

【授業を通じての到達目標】

将来のなりたいビジョンを明確にし、目標に向かって自ら考え行動できるようになる。
各業界に必要な資格を取得し美容業界に必要な基礎知識を理解し、対応力を身につける。
業界で活躍し信頼される社会人を理解する。

【学習内容】

社会人のしぐみやマナーについて理解し、対応力を身につける。
接客業としての考え方を身につけ、美容業界に従事する者として準備する。
内外の自分磨きを徹底し、セルフプロデュース力を高める。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

筆記用具、メモ帳など。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9 /30)	【到達目標】 3Sの振り返りを行い、目標に対しての現状を再確認する。 振り返りから今後のアクションプランを組み立てられることができる	⑨ (11/25)	【到達目標】 先輩・上司への手土産、会食での覚えておくべきこと 手土産ランキング・お酒の種類について
② (10 /7)	【到達目標】 職場での異性や先輩との付き合い方について 上司・先輩との付き合い方	⑩ (12/2)	【到達目標】 思いやりの心について理解し、行動できるようになる グループディスカッション、言葉の花束
③ (10 /14)	【到達目標】 社会人としての生活リズムを確立する 時間管理、ストレスについて	⑪ (12/9)	【到達目標】 これまでを振り返り、冬休み、冬休み後の行動目標を明確にしタイムマネジメントができるようになる グループディスカッション、言葉の花束
④ (10 /21)	【到達目標】 企業人としての規範について 物品管理について	⑫ (12/16)	【到達目標】 お礼状書き お世話になった講師の先生へお礼の手紙を書く
⑤ (10 /28)	【到達目標】 社会人として求められる能力について アクション・シンキング・チームワークについて理解する	⑬ (1/13)	【到達目標】 お礼状書き お世話になった職員へのお礼の手紙を書く
⑥ (11/4)	【到達目標】 社会人として活躍する上で必要な能力について 基礎学力・知識について学び、理解する。	⑭ (1/20)	【到達目標】 2年間を振り返り、学校生活で身につけた力を卒業後、どのように生かすかイメージする 卒業後の自分を明確にイメージする
⑦ (11 /11)	【到達目標】 課題	⑮ (1/27)	【定期試験】50 4Sで身につけた知識の確認。 社会人基礎力について理解しているか 卒業してから1年後の明確な目標についてプレゼン
⑧ (11 /18)	【到達目標】 チームで働く力について考える チームワークの大切さ、仲間意識を身につける	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

メモを取り、実践すること

講義シラバス

科目名	接客メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース	ビューティメイク専攻			学年	2年生		
講師名	新井 梨沙	講師 プロフィール	自身のトータルビューティーサロンを運営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・企業セミナー・職業訓練等、美容教育に携わる。資格と経験を生かし技術・接客・経営・ライフワークに至るまで全てに特化したトータルビューティーの授業を担当しています。						

【授業を通じての到達目標】

様々な方に対応できる接客力とメイクテクニックの習得

【学習内容】

様々な接客シーンを想定した接客ロールプレイ、商品のご提案、色々なメイクを施すことができるようになるためのテクニック実践

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・鏡

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/29)	【到達目標】接客を理論からも理解する オリエンテーション 接客の基本理論	⑨ (12/1)	【到達目標】カウンセリング販売からプラス商品をご提案できるようになる 応用接客・販売トレーニング1 プラスアルファでのご紹介
② (10/6)	【到達目標】肌質・色彩・特徴などを説明できるようになる 商品説明・プレゼンテーション	⑩ (12/8)	【到達目標】色々な色を説明、ご紹介できるようになる 接客メイク3 色彩イメージメイク
③ (10/13)	【到達目標】お声かけからのカウンセリング販売ができるようになる 接客・販売トレーニング1(リップ)タッチアップ	⑪ (12/15)	【到達目標】季節毎の商品を説明、ご紹介できるようになる 接客メイク4 季節別(SS・AW)メイク
④ (10/20)	【到達目標】お声かけからのカウンセリング販売ができるようになる 接客・販売トレーニング2(アイメイク)タッチアップ	⑫ (12/22)	【到達目標】通しでスムーズな接客ができるようになる 応用接客・販売トレーニング2
⑤ (10/27)	【到達目標】お声かけからのカウンセリング販売ができるようになる 接客・販売トレーニング3(チーク)タッチアップ	⑬ (1/12)	【到達目標】通しでスムーズな接客ができるようになる 応用接客・販売トレーニング3
⑥ (11/10)	【到達目標】ティーン世代のメイクについて調べメイクに起こすことができるようになる 接客メイク1 ティーン (課題授業)	⑭ (1/19)	【到達目標】商品理解・ご紹介提案の異なる工夫を作品として作ることができるようになる メイク・コスメ提案 お客様が歓びになるプレゼンテーション イメージボード作り
⑦ (11/17)	【到達目標】アンチエイジング世代のメイク方法の理解 接客メイク2 アンチエイジング (配信授業)	⑮ (1/26)	【定期試験】50 定期テスト プレゼンテーション
⑧ (11/24)	【到達目標】接客クロージングができるようになる 接客販売トレーニング4 クロージング	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物がないように・授業の取り組み態度も評価対象

講義シラバス

科目名	上級筆記対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	石野 紀子	講師 プロフィール	札幌市内中学校の教員を経て本校で美容師国家試験の筆記担当、通信課程担任、デッサン、色彩の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
Ajesthe認定上級試験の合格を目標とした学習を通じて、実技で行う様々な手技や施術等についての総合的な知識を持ち、根拠を理解できる。									
【学習内容】									
AJESTHE筆記試験対策として、試験例題集の演習を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
「新エステティック学第2版」理論編ⅠⅡⅢ、技術編ⅠⅡ AJESTHE 認定上級エステシアン 試験例題集					試験例題集の予復習等の宿題あり				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (10/14)	【到達目標】 皮膚科学(皮膚の構造、働き、疾患についての問題を解くことができる。) 解剖生理学(細胞、骨系、筋系、神経系について問題を解くことができる。)				⑨ (12/16)	【到達目標】 模試(全範囲を通過しての模試を実施し、7割以上正解することができる。)			
② (10/21)	【到達目標】 皮膚科学(シミ、シワ、ニキビ、紫外線の影響、身体と皮膚の関係、肌分析についての問題を解くことができる。) 解剖生理学(呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、生殖系についての問題を解くことができる。)				⑩ (1/13)	【到達目標】 模試(全範囲を通過しての模試を実施し、7割以上正解することができる。)			
③ (10/28)	【到達目標】 生命活動とホメオスタシス(ストレスと免疫系、自律神経系の働きについて、ホメオスタシスについての問題を解くことができる。) 救急法(エステシアンに関わる救命処置、救急手当について理解し、問題を解くことができる。)				⑪ (1/20)	【到達目標】 サロンで実際に使う骨や筋肉の名前と位置を正確に答えることができる。			
④ (11/4)	【到達目標】 運動生理学(運動が身体に与える影響について理解し、問題を解くことができる。) エステティック機器学(エステティック機器の種類と原理について理解し、問題を解くことができる。)				⑫ (1/27)	【到達目標】 美容に効果のある食材や栄養素、調理法などを理解し、自分のおすすめの美容のための料理を考えて発表することができる。			
⑤ (11/11)	【到達目標】 化粧品学(化粧品の成分と特徴、フェイシャル化粧品、ボディ化粧品、ネイル化粧品の特徴を理解し、問題を解くことができる。) 関連法規(特定商取引、割賦販売法、衛生法規などエステティックに関わりの深い法律について理解し、問題を解くことができる。)				⑬ (2/3)	【到達目標】 シミ、シワ、たるみ、ニキビや紫外線の影響など、肌の悩みやトラブルについて、自分が特に興味を持ったものについて調べなおす。悩みを持つ人に対して、原因や対処法などについてわかりやすく説明をするためのパンフレットを作成することができる。			
⑥ (11/18)	【到達目標】 衛生管理(消毒法、感染症、公衆衛生についての基本を理解し、問題を解くことができる。) エステティック理論(エステシアンとしての心構え、エステティックの種類や歴史、スキントッチの重要性について理解し、問題を解くことができる。)				⑭ (2/10)	【到達目標】 第13回の授業で作成したパンフレットをクラスで共有し、発表できる。どのような点に注意して説明したらよいか、そのポイントを理解することができる。			
⑦ (11/25)	【到達目標】 まとめ(まとめの問題を解くことを通して、苦手分野を認識してその分野への理解を深めることができる。)				⑮ (2/17)	【定期試験】50 全14回全ての内容から出題。			
⑧ (12/9)	【到達目標】 模試(全範囲を通過しての模試を実施し、6~7割正解することができる。)				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験60点				
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
Ajesthe問題集の予復習を毎週必ず実施すること。					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	SNS演習	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	大谷 奈津美	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校第10期生。卒業後、(株)札幌丸井三越のクリスチャンディオールにて化粧品の販売経験を積む。退職後、講師として母校に戻り現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
SNSを介したコミュニケーションと発信力を身につける									
【学習内容】									
SNSを魅力的に発信する技術を身につけ、社会に出た時に企業の魅力を最大限に発信する方法を理解する。 業界・広報担当者からSNSについての知識、人の撮り方・物の撮り方について理解し実践する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、メモ帳など。					特になし				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 オリエンテーション SNSの発信方法と発信する際の注意点を学び実践できるようになる				⑤ (6/29)	【到達目標】 カメラマンによる、スマートフォンでの人物撮影のポイントを理解することができるようになる グループになり学校周辺で撮影する			
② (4/27)	【到達目標】 SNSを発信するポイント・正しい発信方法を理解し実践できるようになる				⑩ (7/6)	【到達目標】 VMD担当者による、物を撮影するポイントを理解することができるようになる 物の撮影の仕方を理解する			
③ (5/11)	【到達目標】 SNSを発信するポイント・正しい発信方法を理解し実践できるようになる 個人情報の取り扱い方を学ぶ				⑪ (7/13)	【到達目標】 VMD担当者による、物を撮影するポイントを理解することができるようになる 化粧品・ネイル作品を魅力的に撮影する			
④ (5/18)	【到達目標】 就職活動に必要なSNSの発信方法・撮影方法を学び実践できるようになる 就職試験で活用できる自分の写真を撮影練習をする				⑫ (8/24)	【到達目標】 業界コラボ予定			
⑤ (5/25)	【到達目標】 就職活動に必要なSNSの発信方法・撮影方法を学び実践できるようになる 就職試験で活用できる自分の写真を撮影練習をする				⑬ (8/31)	【到達目標】 定期試験準備			
⑥ (6/1)	【到達目標】 就職活動に必要なSNSの発信方法・撮影方法を学び実践できるようになる 就職試験で活用できる自分の写真を撮影する				⑭ (9/7)	【到達目標】 定期試験準備			
⑦ (6/8)	【到達目標】 導入教育の「遠足」に向けたテーマを意図した撮影ポイントを考え表現できるようになる ・6月、新緑、初夏の3テーマの中から撮影するテーマを決めイメージする				⑮ (9/14)	【定期試験】60 前期で身につけた知識の確認 様々な撮影技法を活用し、一つの作品を完成させる			
⑧ (6/22)	【到達目標】 カメラマンによる、スマートフォンでの人物撮影のポイントを理解することができるようになる 光・角度・グリッドを意識した撮影をする				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト60点/定期試験40点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
メモを取り、実践すること									